

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月20日		記入者		連絡先	2632
平成18年度部名	保健福祉部		課名	介護予防推進室		課長名 佐藤浩三
平成19年度部名	保険高齢部		課名	介護予防推進課		課長名 佐藤浩三
事務事業名	特定高齢者把握事業					
予算上の事務事業名	特定高齢者把握事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造					
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	第3期高齢者保健福祉計画			市が主催する足腰体力テスト及び生活リハビリ相談を通じ、要支援・要介護状態になるおそれのある特定高齢者の把握を行う。		
計画年次	平成18	年度～	平成20			
4 事業形態の区分	窓口・相談 ▼			5 事業開始年度	平成18年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
特定高齢者の把握					65歳以上の高齢者	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
足腰体力テスト 身体計測、筋力、柔軟性、バランス、歩行能力テスト等の運動機能テストのほか、問診、血圧測定などを行うことを通じ、特定高齢者の把握を行った。 生活リハビリ相談 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による相談・指導・助言を行うことを通じ、特定高齢者の把握を行った。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	1,414	2,934	2,934	
一般財源	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	1,414	2,934	2,934	
人件費の合計	0	0	4,025	4,025	4,025	
事業コスト合計	0	0	5,439	6,959	6,959	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	生活リハビリ相談			対象名称 と単位	延利用者数	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)			3,807	4,720	4,720	
対 象 数			223	198	250	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	17,072	23,838	18,880	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.40	0.79	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	生活リハビリ相談実施率（％）	指標式と指標の説明	延利用者実績数 / 延利用者見込み数 × 100 相談利用者の見込みに対する実績の割合		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			225.3		
目標			100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	225.3		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	要支援・要介護認定者数の推計値に対する要支援・要介護認定者数の実績値	指標式と指標の説明	要支援・要介護認定者数の推計値 ÷ 実績値 × 100 推計認定者数に対する実績値の達成状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			104.7		
目標			100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	104.7		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		足腰体力テスト及び生活リハビリ相談ともに、特定高齢者を選定する過程において、重要な役割を果たすことから、引き続き事業を実施する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
足腰体力テストについては、特定高齢者の把握のほか、一般高齢者の介護予防に資する役割も大きいことから、今後は一般高齢者介護予防事業の中に位置づける。			生活リハビリ相談については、相談場所や相談日時の充実を図る必要がある。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		より効果的な事業の実施を進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			